

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農業使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

農作物技術情報 第6号 果 樹

発行日 平成20年8月28日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター県域普及グループ (電話 0197-68-4435)

「いわてアグリベンチャーネット」は9月1日からリニューアル！
新しいアドレスは「<http://i-agri.net>」(8月中は <http://www.nougyou.kitakami.iwate.jp/agri/>)

りんご早生種の適期収穫・すぐりもぎの徹底を！！
ぶどうの適期収穫で、品種特性の発揮される収穫を！！

りんご

1 生育の状況

(1) 果実肥大

りんごの果実肥大は、8/21現在、平年並からやや大きくなっています(表1)

表1 定点調査におけるわい化りんごの果実肥大(調査日8/21, 果実横径: 単位 mm)

8月21日時点 の生育状況	つがる			ジョナゴールド			ふじ		
	20年	19年	平年	20年	19年	平年	20年	19年	平年
二戸市	82.4	80.2	81.1	84.2	77.2	80.9	75.3	73.2	72.9
岩手町	79.0	76.6	80.8	78.2	75.5	79.7	75.7	72.0	70.8
盛岡市	79.7	79.2	80.4	79.7	71.8	78.9	75.1	70.7	72.8
紫波町	80.9	74.3	85.1	82.7	74.5	80.4	75.1	65.1	74.4
花巻市	84.2	79.4	80.4	85.0	77.2	79.3	79.2	73.9	70.9
農研センター	85.2	81.8	82.8	80.1	74.5	80.8	77.6	72.5	73.6
北上市	92.1	84.6	84.6	84.8	76.4	82.9	82.7	75.5	76.7
奥州市前沢区	82.9	82.1	83.3	79.0	77.3	79.5	77.2	73.7	74.9
奥州市江刺区	81.0	78.7	80.1	80.9	75.6	80.0	73.0	68.1	70.9
一関市花泉町	81.6	77.8	82.2	84.5	79.7	78.0	71.6	66.5	70.9
一関市大東町	86.5	77.3	82.0	79.5	74.7	76.6	72.1	64.3	73.1
陸前高田市	84.8	76.6	82.7	73.6	74.5	78.2	69.1	70.0	72.4
宮古市	81.0	81.3	80.0	85.0	77.6	80.1	78.2	75.0	73.5
岩泉町	95.9	93.4	81.3	79.7	79.0	73.1	79.1	76.8	72.0
洋野町大野	78.3	74.4	77.6	76.8	74.2	76.7	71.9	69.1	69.4
県平均(参考)	83.7	79.8	81.6	80.9	76.0	79.0	75.5	71.1	72.6

(2) 果実内容

本年のりんごの開花期は、平年より7~10日早まり、早生品種の熟期も早まることが予想されましたが、早生品種の果実内容を見ると、糖度および硬度、デンプンの抜けなど平年並み~やや早い程度となっています(図1~3)

これは、8月後半から平年より気温の低い日が続いたためと思われる。しかし、今後の気象によって変わることもありますので、着色管理を進め適期収穫に心がけましょう。

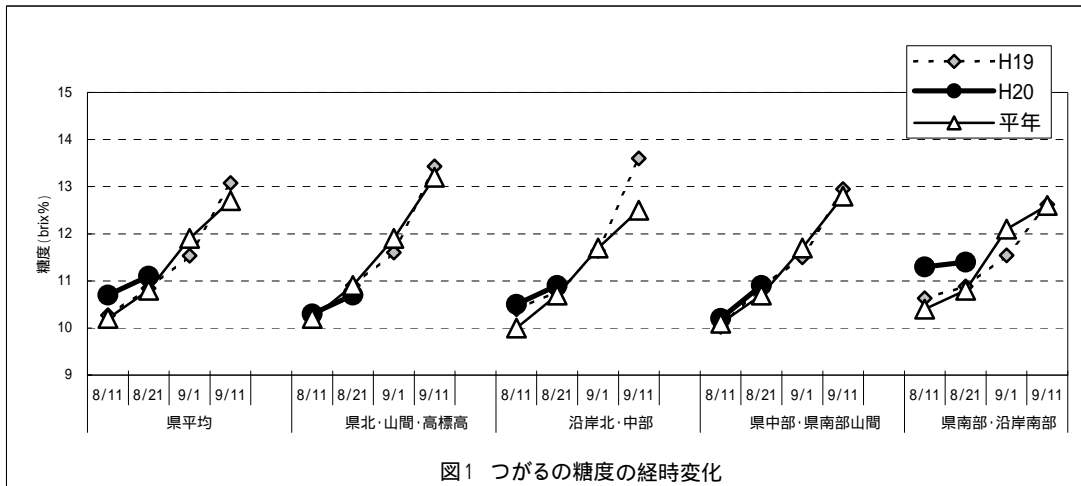


図1 つがるの糖度の経時変化

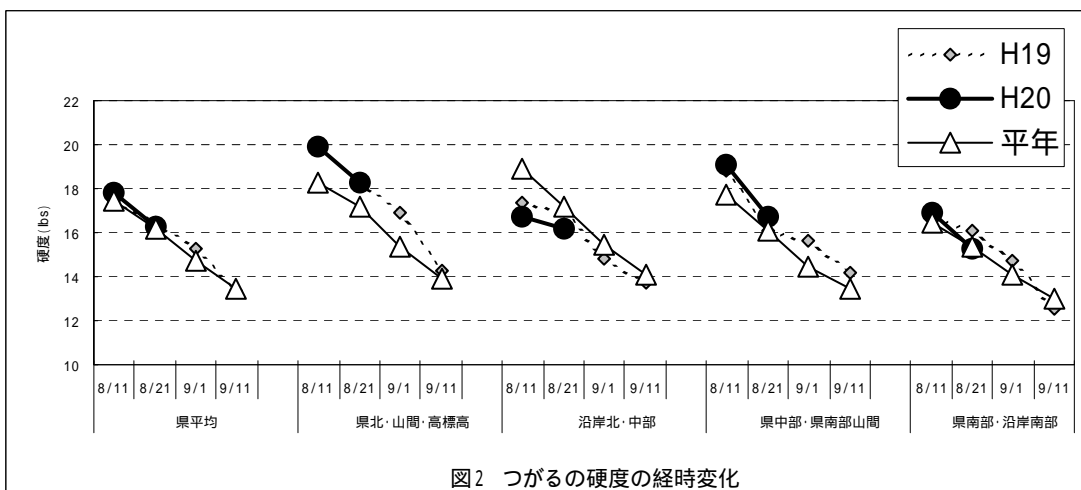


図2 つがるの硬度の経時変化

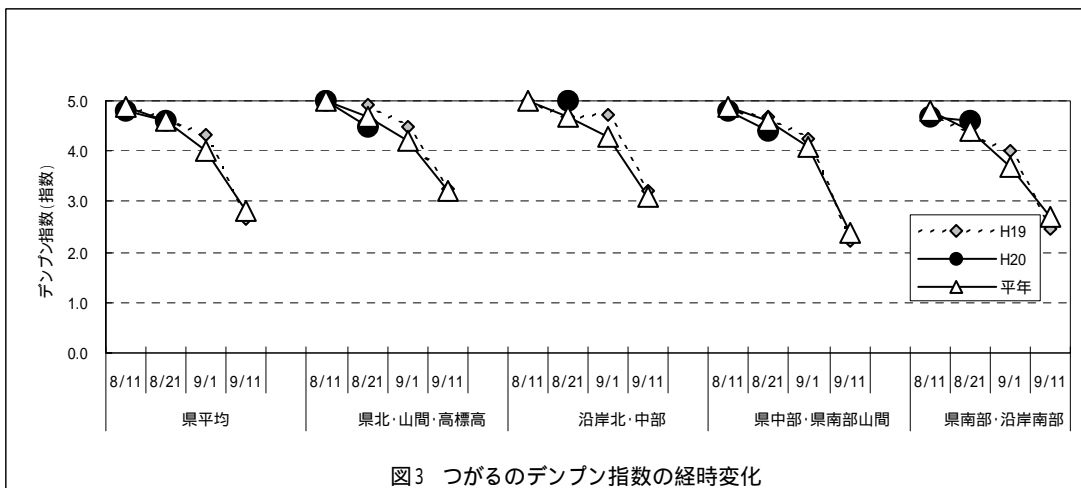


図3 つがるのデンプン指数の経時変化

2. 管理作業

(1) 早生種の着色管理

ア 「さんさ」、「つがる」について作業を進めましょう。

イ 1回目の軽い葉摘み終了後、陽光面の着色が進んでから、葉や枝カゲをつくらないように玉回しを収穫まで2～3回行います。玉まわしと同時に適度な強さに葉を摘みます。しかし、果皮に急に直射日光が当たると日焼けが発生しますので、徐々に葉摘みを進めましょう。

ウ りんごの着色適温は15～20です。気温の高い日が続くと、必要以上に葉摘みを強くしても着色は進まないの、過度の葉摘みとならないよう注意します。

(2) 収穫

ア すぐりもぎが基本です。特に熟期が不揃いな「つがる」や「きおう」は徹底しましょう。

イ 「きおう」は、ツル浮き（内部裂果）が発生しやすく、これは正常果よりも早く熟しますので、特に収穫前半はツル浮き果が混入しないよう注意してください。本年は、ツル浮きの発生が多い傾

向にありますので、特に注意が必要です。

ウ 「つがる」は、収穫後の果肉の軟化が早く、また、収穫が遅れると果面に油上がりが発生しやすいので、地色に注意して遅取りを避け、収穫後はできるだけ早めに予冷しましょう。

エ 落果防止剤にストッポール液剤を散布した場合は、散布日から7日以上開けて収穫します。

表2 早生種の収穫期の目安

品 種	満開日 起算日数	硬度 (ポント)	糖度(Brix%)	デンプン指数	カラー チャート 指数
さんさ	115日	13.5～14	13～14	2～3	ふじ用地色 2～3
つがる	115～125	13～14	12～14	3～3.5	2～3
きおう	115～125	13～14	13以上	2～3	きおう用表面色 2.5～3.5

(3)「黄香」の管理について

本年の「黄香」の開花期は、他の品種と同様に春先の高温の影響で、昨年に比べて10日前後早まり、県中南部で5月5日前後、県北部及び県中高標高地では8日前後となりました(表3)。また、地域間の差が少なくなっています。そこで、以下の点に留意して収穫前管理を進め、品質の良い果実の収穫に努めてください。

ア 満開起算日数からみた収穫期の目安について

「黄香」の収穫期の基準は、表4のとおりです。

収穫期の目安として、満開起算日数130～135日がありますが、本年は開花が例年よりかなり早まり、収穫期が早まると予想されました。しかし、つがるなどの早生品種の熟度が、平年並みからやや早い程度となっていることなどから、「黄香」についても極端に早まらないと考えられ、満開起算日数の遅い方である**満開135日後**が収穫期の目安となると考えられます。

なお、今後の気象や果実品質の変化によって変わることがありますので、注意してください。

表3 黄香の満開期と収穫始期の目安

市町村	調査 地区	満 開 期			収穫期の目安となる満開起算日数 (135日)到達日
		H20	H19	前年差(日)	
盛岡市	川目	5月9日	5月25日	-16	9月21日
紫波町	長岡	5月5日	5月16日	-11	9月17日
北上市	立花	5月4日	5月15日	-11	9月16日
奥州市	江刺区鴨沢	5月5日	5月14日	-9	9月17日
一関市	花泉町	5月4日	5月10日	-6	9月16日
一関市	川崎町	5月6日	5月15日	-9	9月18日
二戸市	舌崎	5月7日	5月16日	-9	9月19日
県平均		5月5日	5月15日	-10	9月17日

表4 「黄香」収穫期の果実品質の目安

満開起算日数	硬 度	糖 度	酸 度	デンプン指数
130～135日	16lbs前後	13%以上	0.3%前後	2以下

イ 「黄香」表面色カラーチャートを利用した収穫期の判断

農研センターの平成18年度における研究成果で、**表面色カラーチャート**を利用した収穫適期判断が可能となりました。収穫適期の目安は、**指数4～4.5**となります。表面色カラーチャートについて、欲しい方や詳しい使い方については、各普及センター、農協に問い合わせてください。

ウ 収穫時の留意事項

「黄香」の最終的な収穫期の判断は、果皮色、糖度、硬度等を加味し総合的に判断します。収穫が早すぎると食味が劣り、収穫が遅れると裂果を助長する要因となりますので注意して下さい。

「黄香」の果実は、比較的熟期が揃う傾向がありますので、ほぼ一斉収穫が可能と思われますが、すぐりもぎをする場合は、熟期の遅れているものを残す感覚で行ってください。

エ 落果防止剤の散布

「黄香」は収穫前落果が見られることから、落果防止剤を散布する必要があります。

薬剤はストッポール液剤の1,000倍を使いますが、散布時期は落果防止効果と果実品質への影響を考慮して収穫の8～10日前が望ましいと考えられます。これを収穫期の目安から計算すると、**散布時期は9月第2週頃**になると考えられます。

オ 裂果が発生した場合について

「黄香」は、場合によって、収穫前に裂果(縦割れ)が発生する場合があります。園地で裂果が発生した場合は、果実内容が十分かどうかを確認して収穫を開始します。なお、いずれの場合も落

果防止剤の散布後の日数を確認し、使用基準を遵守の上収穫を開始するようにしてください。

参考 落果防止剤の使用法

薬剤名	対象作物	使用方法(濃度、使用法等)	使用時期	留意事項
ストップール液剤	りんご	1,000～1,500倍 成木で300～600L/10a を散布	収穫開始予定日の 25～7日前	使用回数は1回(登録上の年使用 回数は2回以内) 展着剤は不要 落果防止効果は散布後5～7日か ら始まり、3～4週間持続する。
マデック		6,000倍 成木で300～600L/10a を散布	収穫開始予定日の25日 及び15日前の2回処理	持続性が弱く、落果が始まると止 める力はない 展着剤を加用する 年使用回数は2回以内

共通の留意事項

- 農薬を使用するに当たっては、ラベルなどで**使用基準を確認**してください。
- 着色、熟期が促進されるので、過熟にならないよう適期収穫に努める。
- 薬剤が葉先からしたたり落ちる程度にむら無く散布する。
- 他剤との混用は避ける。
- 周辺作物にかからないよう注意し、使用後の散布器具は十分洗浄する。

3. 病害虫防除および気象災害対策

(1) 病害虫防除

予察情報によると、王林を中心に斑点落葉病の発生が見られています。今後の気象条件によって本病害の他、褐斑病やハダニ類等が発生することがあります。今後の情報を参考にして、必要な防除を実施しましょう。農薬を使用するに当たっては、**使用基準**(倍率、**収穫前日数**等)に十分注意してください。

(2) 台風対策

これから、台風が多く発生する時期になります。強風で倒木が発生しないよう、防風ネットの設置、支柱との結束を確認してください。また、気象情報に注意し、台風の接近前に収穫を進めるなど、被害を最小限にできるよう対策を講じてください。

(3) 湿害対策

台風に伴う大雨や秋の長雨など、園地内が過湿となった場合、裂果や根部の障害による樹勢衰弱の要因となります。園地内に水が停滞しないよう、溝を掘るなど排水対策を講じましょう。

ぶどう

1. 生育の状況

紫波町の定点調査における「キャンベル」の果実品質は、果粒肥大および糖度の上昇は平年より良好(表5)となっています。

ただし、8月後半からの降雨により、裂果や灰色カビ病の発生が見られています。

収穫は、糖度や酸抜けなどの果実品質を十分に確認してから行います。

表5 8/25現在のぶどうの生育状況

(調査地点:紫波町赤沢)

項目	本年	平年	前年
新梢長(cm)	122.9	138.3	119.3
節数(葉数)	15.5	18.0	14.4
房長(cm)	14.5	15.7	15.2
粒径(mm)	20.7	19.3	20.0
糖度(%)	13.2	11.0	10.6

2. 管理作業

(1) 収穫

収穫は着色、糖度などの食味に留意しながら、表6の品種ごとの基準糖度に達してから行います。過熟になると商品価値が落ちるので、適期収穫に努めましょう。

早生品種や栽培法によっては、すでに収穫期に入っているものもあると思われますが、収穫に当たっては、**農薬安全使用基準の収穫前日数**には十分に注意してください。

収穫は、果実温度が低い早朝から午前中に行います。降雨直後は、糖度も下がり、輸送中の腐敗も多くなるので避けるようにしましょう。

選果・調整は、果粉を落とさないように穂柄を持ち、未熟果、腐敗果、裂果等を除き、出荷形態に即して房形を整え出荷しましょう。

表6 品種別収穫時期の目安

品 種	基準糖度	房の状態	備 考
キャンベル	14度以上	房全体が黒紫色	酸ぬけが遅い、食味重視
デラウエア	18度以上	着色完了から2～3日後	
ナイアガラ	15度以上	黄色みが増した頃	棚持ちがよい
ノースレッド	15～17度	房全体が赤褐色	
紅伊豆	18度以上	房全体が鮮紅色	過熟果は軟化や脱粒多
ハニーブラック	20度	房全体が紫黒色	脱粒少ない
安芸クイーン	18度	房全体が鮮紅色	脱粒少ない

(2) 裂果対策

収穫直前の**急激な土壌水分変化**は、裂果の発生を助長します。土壌が乾燥し過ぎないように、こまめな**雑草の刈り取り**、樹冠下に**敷きワラ等でマルチ**するなどの対策を実施します。また、降雨があった場合には、過剰な水分を早期に排水できるよう、根域の周辺にビニール等を敷く、溝掘り（明渠）するなどの対策を実施しましょう。

紅伊豆などの雨よけハウス栽培では、温度の高くなりやすいハウス中央部などで**果実の着色不良**や**果肉の軟化**が裂果や脱粒を引き起こすことがあります。気温が高くなると予想される日は、サイドのビニールを巻き上げる、換気扇を利用する等温度が上がりすぎないように努めます。

農薬を使用する際は、必ずラベル等で使用基準（登録の有無、収穫前使用日数、散布濃度、使用回数等）を確認して使用してください。

農作物技術情報第7号は9月25日（木）発行の予定です。
 気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。
 発行時点での最新情報に基づき作成しております。
 発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。

9月15日～11月15日は秋の農作業安全月間
「気をつけて」朝のひと声で 初心忘れず ゆとりの仕事